一　般　質　問　通　告　書

令和７年第２回定例会

順番	議席番号	氏　　名	発　言　事　項	要　　旨	答弁を求める者
1	6	渡　辺　久　治	1　本市、脇本海岸折口沖に沈んでいる紫電改について	⑴　引き揚げるに当たり、機体の所有権や移動などについて、法的な取扱いはどのようになっているか。	市　　長
				⑵　引き揚げようとしている市民団体から要請があった場合、本市として、何らかの支援を行う考えはあるか。	市　　長
			2　学校の在り方について	⑴　現在休校としている田代小・尾崎小は、令和７年度末までに意見がまとまった場合、令和９年度から新しい小学校との統・廃合を行うとしているが、現状をどのように認識しているか。また、同様の進め方を予定している鶴川内中学校について、現状をどのように認識しているか。	教　育　長
				⑵　平成10年に休校となり、平成18年に閉校となった隼人小学校は、休校中に施設の活用について検討がなされたか。また、閉校後に地域の施設として活用されているか。	教　育　長
			3　洋上風力発電について	４月25日、鹿児島県はいちき串木野市沖での洋上風力発電の事業化に向けて、国に情報提供を行った。本市でも市が主体となって、漁業関係者の方々との合同勉強会を開催する考えはないか。	市　　長
			4　本市在住の外国人に関することについて	⑴　市内在住の外国人を対象に、防災講座を実施する考えはないか。	市　　長
				⑵　市民課の中に、新たに外国人専用の係を設ける考えはないか。	市　　長
2	8	白　石　純　一	1　道路行政について	⑴　国道３号から鶴翔高校方面に入る市道の一部が１車線で渋滞を引き起こし、独立した歩道も	市　　長

				なく危険な現状にある。これを解消するため、道路の拡張を行う考えはないか。	
				⑵　市道阿久根出水線の園田交差点と大川島交差点の区間沿線の住民を交通公害や交通事故から守るため、交通量削減の方策として、園田交差点に南九州西回り自動車道から鹿児島方面へ向かう車両に対して国道３号へは直進するように誘導する標識を設置できないか。	市　　長
			２　青果市場跡地について	土地の貸付料の算定基準は何か。	市　　長
			３　ハローワークについて	市立ハローワークを設置する考えはないか。	市　　長
			４　市の障がい者雇用について	令和６年３月に、本市は、鹿児島労働局から障がい者雇用促進法に基づく適正実施勧告を受け、令和７年３月には、本市教育委員会が同じ適正実施勧告を受けた。市長部局及び教育委員会が２年続けて障がい者雇用に関し労働局から、数少ない団体の一つとして是正勧告を受けたことをどう受け止めているか。	市　　長
			５　金婚式を迎える市民について	金婚式を迎える御夫婦を市としてお祝いすることは考えられないか。	市　　長
			６　学校統廃合について	複式学級になったが統廃合対象とされていない折多小学校のように、他の複式学級を有する小中学校も残す選択ができないのはなぜか。	教　育　長
			７　学校教育について	⑴　阿久根小学校の改修に伴う、運動場の仮設校舎の撤去は、運動会準備期間前に終わるのか。	教　育　長
				⑵　小学校での動物飼育の方針・運用状況は。	教　育　長
			８　新図書館について	幼児や子ども向けの図書スペース、読み聞かせスペースを、大人向け図書館とは独立させ、子育て支援センター機能や、屋内遊戯施	教　育　長

				設と併設し計画する考えはないか。	
			9　番所丘公園の景観について	⑴　高台にできたオートキャンプ場に設置されたフェンスは景観を阻害していると考えないか。また、フェンスの強度は十分か。	市　長
				⑵　太陽光発電施設のパネルは景観に配慮し、樹木で目隠しを行うとのことだったが、実施されたか。	市　長
			10　原子力災害避難について	尾崎・弓木野を含む山下地域及び西目地域の住民の避難先に指定されたまま改装工事に入り、避難先としての機能を失っていた伊佐市大口ふれあいセンターの代替施設が決定次第、避難対象地域の住民に告知されるとのことだったが、いつ、どのような方法で告知されたか。	市　長
3	13	濵　田　洋　一	1　南九州西回り自動車道及び新たな道の駅整備計画等について	⑴　南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」22.4ｋｍは、平成27年度に一括で事業化されたが、これまでの経過と進捗状況は。	市　長
				⑵　「サンセット牛之浜景勝地」を望む新たな道の駅整備計画と取組み状況は。	市　長
			2　原子力災害対策について	⑴　本市の原子力災害対策における防災体制及び緊急事態応急対策について、どのような計画がなされているか。	市　長
				⑵　令和７年２月14日から16日にかけて国の原子力防災訓練と一体となった形で、関係９市町と連携し、鹿児島県原子力防災訓練が行われ、事故の発生を想定し、その段階に応じた訓練が実施された。 この３日間の本市の訓練内容は。	市　長
			3　危機管理、防災・減災対策について	⑴　令和６年第２回定例会の一般質問において、自主防災組織	市　長

				は、地域ごとのリスクに応じた活動ができるかが大切である。活動の充実と強化について、どのように考えているかとの問いに、県の事業を活用して、市内１地区で地域の実情に合わせた自発的な防災活動に関する地区防災計画の作成を行うとの答弁であったが、地区防災計画とは、具体的にどのようなものか。	
				⑵　自主防災組織に対し、地域または地区ごとの災害リスクを認識した上で、各種災害に対応した活動の必要性が求められていると思うが、本市では、災害リスクの高い地域、あるいは、低い地域といったエリア区分を行い、各区の自主防災組織に周知がなされているか。また、行政と自主防災組織の共有が図られているか。	市　　長
			４　夜間中学について	⑴　夜間中学とは、どのような役割を果たすものか。また、学びの場の提供の重要性をどのように考えているか。	教　育　長
				⑵　新聞報道において、識者の方が「鹿児島県は県土が広大で、夜間中学に通いたくても交通手段がないなどの理由でかなわない状況が予想される」と指摘され、「学びの機会を保障していくため、県と市町村教育委員会が連携を図り、夜間中学を増設することが必要」との掲載があった。このことをどのように捉えているか。	教　育　長
４	１	大　田　基　次	１　ふるさと納税の返礼品について	同じ返礼品であっても、市町村ごとに返礼品の寄附金額や内容が異なっている。本市が寄附先として選ばれるためには、返礼品の内容を充実させることが重要だと考	市　　長

				えるが、どのような工夫を行っているか。	
			2　華の50歳組について	運動会が半日の開催となり、運動会で50歳組の種目を行うことに対して批判の声が上がっていることや、学校の統廃合により母校がなくなることから、これから50歳組を迎える世代の中に取組を断念する年代が出てきているが、華の50歳組が本市の伝統として続いていくために、どのような支援を行っていくか。	市長・教育長
			3　番所丘公園に設置されている太陽光発電施設について	送電線の一部が既存の公園施設である排水路内に設置されているのはなぜか。	市　　長
5	4	大　野　雅　子	1　地域防災について	地域防災計画が市民にとって実効性のある分かりやすいものとなっているか伺う。	
				⑴　避難情報の発信は、どのような判断基準とタイミングで行っているか。	市　　長
				⑵　避難所の開設は、どのような判断基準とタイミングで行っているのか。	市　　長
				⑶　阿久根市災害時要援護者避難支援プランでは避難行動要支援者登録制度を設けているが、現在何名の登録があるか。	市　　長
				⑷　避難行動要支援者の避難訓練は行われているか。	市　　長
			2　子育てしやすいまちについて	児童福祉法等の一部を改正する法律（令和４年法律第66号）が令和６年４月１日に施行され、子育てに対する包括的な支援のための体制強化が図られたことについて、現状を伺う。	
				⑴　本市では、相談支援等を行う機関として子育て世代包括支援センターが設置されているが、同センターの業務内容と対象者を示せ。	市　　長
				⑵　本市では、子育て支援コンシェルジュ事業を行っている	市　　長

				が、同センター事業との関連はどうなっているのか。	
				⑶　同センターの内容について、市民に対する周知は十分に行われていると考えているか。	市　　長
				⑷　国においては、母子保健と児童福祉の双方の機能を備えたこども家庭センターの設置を推進しているが、本市においても、早急にこども家庭センターを設置し、育児中の家事に悩む子育て世帯に寄り添うべきではないか。	市　　長
			3　夏場の熱中症対策について	⑴　近年の猛暑により、熱中症で多くの市民が救急搬送されていると聞くが、実態はどうなっているのか。	市　　長
				⑵　本市のクーリングシェルターを示せ。	市　　長
				⑶　小中学校の体育館では、熱中症対策をどのように行っているか。	教　育　長
				⑷　暑い日や雨の日に幼児や児童と保護者が一緒に過ごせる室内施設を開設できないか。	市　　長
			4　第２副市長の担当事務について	第２副市長の担当事務は何か。また、その事務の課題は何だと考えているか。	市　　長